

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	女子栄養大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ジョシエイヨウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	食品開発・管理実習(学外実習)
	学部・研究科等名	栄養学部保健栄養学科栄養科学専攻
	担当教職員名・役職	青柳康夫・教授、三浦理代・教授、臼井照幸・准教授、西塔正孝・准教授(役職は平成28年度当時)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	27
	受入企業等数	11
	受入企業等名	東京顕微鏡院、日本清涼飲料協会、三島食品、弓削多醤油、みたけ食品工業、プランタン、高砂香料、水産総合研究センター、埼玉県食品衛生協会検査センター、埼玉県食肉衛生検査センター、越谷市保健所衛生検査課
	インターンシップの分類	6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	技術研修等
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
要素③	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスにて学生に提示している
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
要素④	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ施設に関するレクチャーを実施している
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	パワーポイントを用いた学生によるプレゼンテーションを実施している
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ施設へ訪問している
	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
要素⑤	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	報告会を実施している
要素⑥	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間(うちインターンシップ実施期間3-5日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
要素⑦	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3日間の施設と5日間の施設が含まれる
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
問い合わせ先	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	計画に基づいて実施している
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://cpweb.eiyo.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusSansho/U1/WSL_SyllabusSansho.aspx?P1=e14200000&P2=2016&P3=20170402
問い合わせ先	大学等名	女子栄養大学
	担当部署名	学長室学長事務課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	渡部修司
	電話番号	03-3915-3625
	メールアドレス	wshuji@eiyo.ac.jp